



2021年3月期 第3四半期
決算説明資料

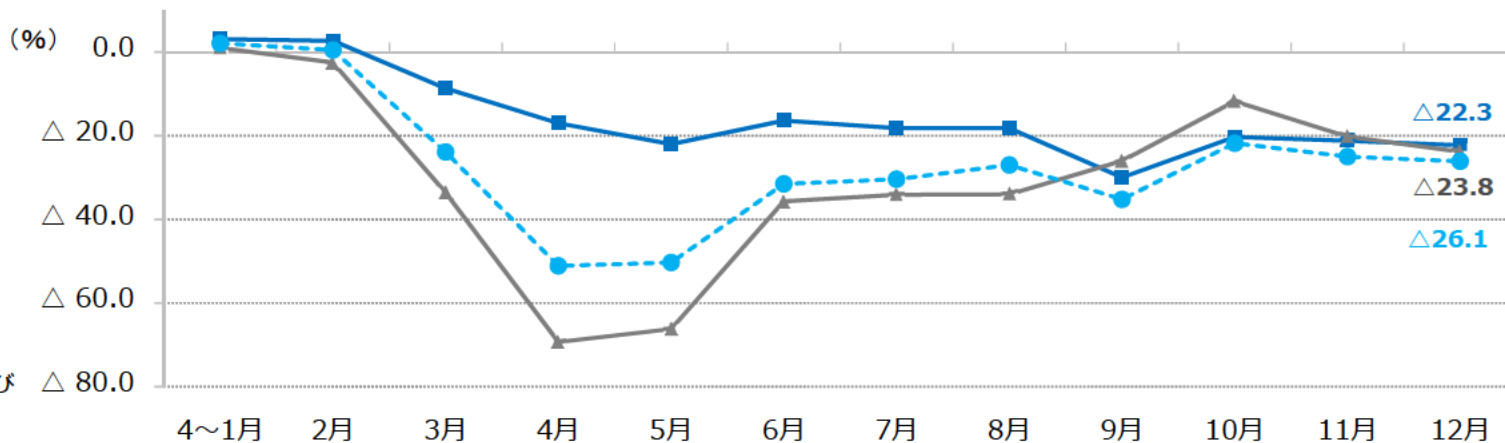
2021年2月10日

各事業の営業状況（月次推移）



小田急電鉄 輸送人員（前年比）

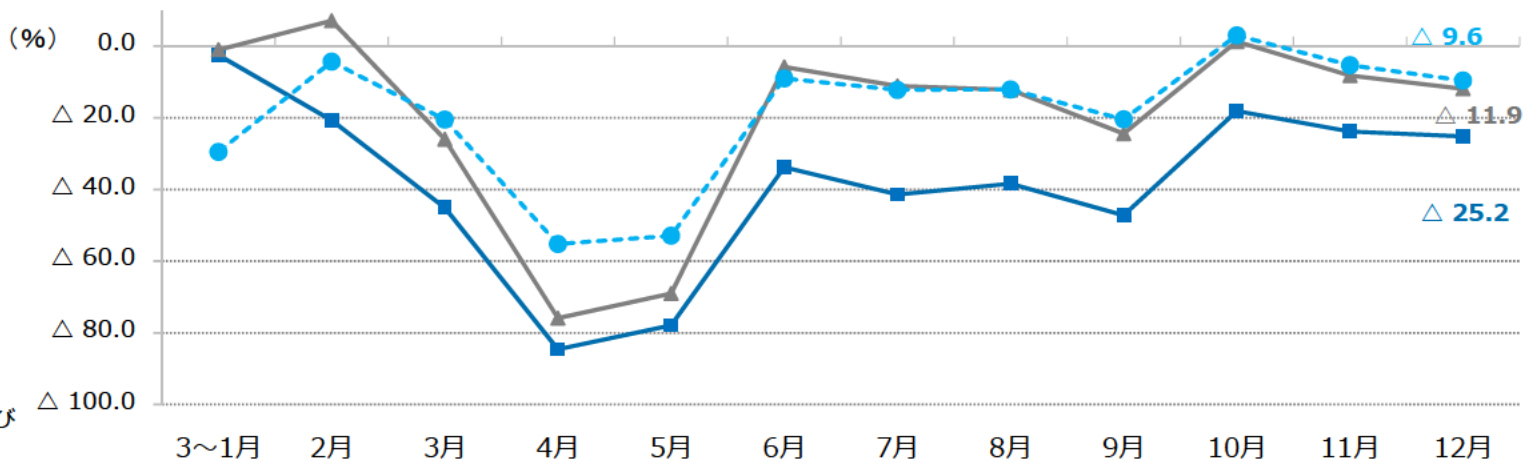
- 通勤定期
- ▲ 定期外
- 定期・定期外計



※ 9月・10月は前年度消費増税に伴う定期券先買いおよび反動減の影響あり

小田急百貨店 売上高（前年比）

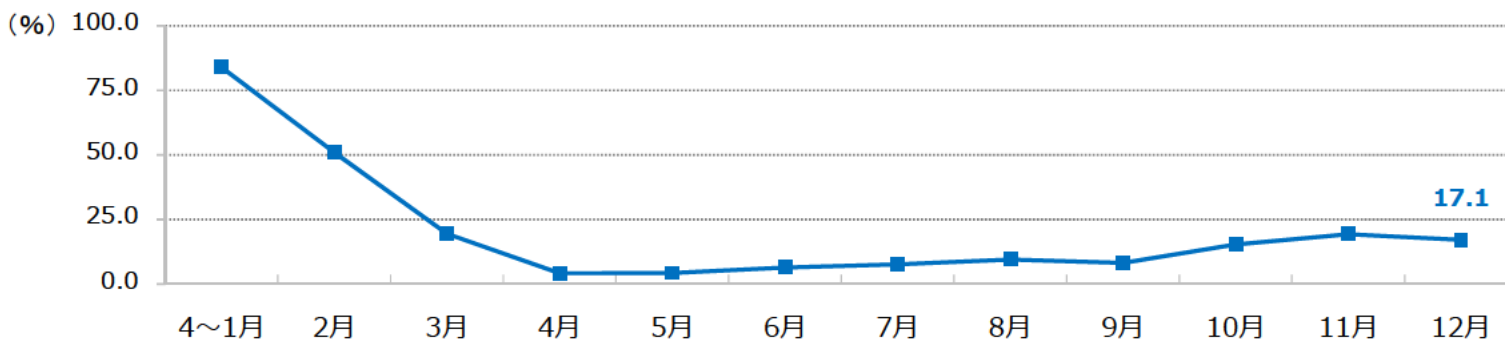
- 新宿店店頭
- ▲ 町田店
- ふじさわ



※ 町田店・ふじさわは、19年3月にリニューアルを実施
9月・10月は前年度消費増税に伴う駆け込み需要および反動減の影響あり

ハイアットリージェンシー 東京 宿泊稼働率

※ 10/1~12/27 GoToトラベル事業適用対象



単位：百万円	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減
営業収益	393,219	273,302	△119,916 (△30.5%)
運輸業	134,342	87,466	△46,876
流通業	154,829	114,556	△40,272
不動産業	46,341	43,023	△3,318
その他の事業	83,405	49,313	△34,092
調整額	△25,699	△21,057	+4,641
営業利益	36,383	△17,678	△54,061 (-)
運輸業	23,534	△16,525	△40,059
流通業	2,676	△1,596	△4,272
不動産業	7,366	10,417	+3,051
その他の事業	2,760	△10,012	△12,773
調整額	45	38	△7
経常利益	35,197	△22,156	△57,353 (-)
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,628	△19,010	△40,638 (-)

単位：百万円	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業外収益	4,305	3,093	△1,212	
営業外費用	5,492	7,571	+2,079	
特別利益	1,540	7,563	+6,022	投資有価証券売却益 3,784 (+3,781) 助成金収入 2,852 (+2,852)
特別損失	3,431	3,729	+298	固定資産除却損 415 (△636) 臨時休業による損失 2,587 (+2,587) ※1 災害損失引当金繰入額 90 (△1,296) ※2

※1 緊急事態宣言に伴う臨時休業期間中に発生した減価償却費・賃借料等の固定費を「臨時休業による損失」として特別損失に計上

(参考) 臨時休業による損失の内訳 (百万円)

運輸業	213
流通業	1,287
不動産業	409
その他の事業	677
合計	2,587

※2 2019年10月の台風19号による被害に対する修繕・復旧に要する費用の見積額と、滅失資産の簿価相当額を「災害損失引当金繰入額」として特別損失に計上

連結貸借対照表



単位：百万円	2019年度	2020年度 第3四半期	増減・主な要因
流動資産	131,791	213,171	+81,380
固定資産	1,196,512	1,189,614	△6,898
資産合計	1,328,303	1,402,785	+74,482 現金及び預金 +78,393 投資有価証券 △5,023
流動負債	377,494	368,449	△9,044
固定負債	560,626	668,196	+107,569
負債合計	938,120	1,036,645	+98,525 有利子負債 +107,758
純資産合計	390,183	366,140	△24,043 利益剰余金 △22,665
負債純資産合計	1,328,303	1,402,785	+74,482

(参考) その他の財務情報

単位：百万円	2019年度	2020年度 第3四半期	増減
現金及び預金	28,594	106,987	+78,393
有利子負債	741,027	848,785	+107,758
自己資本比率	29.1%	25.9%	△3.2P

単位：百万円	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	134,342	87,466	△46,876 (△34.9%)	
鉄道業	102,010	65,938	△36,072	(△)外出自粛による利用者減 (△)~7/22箱根登山鉄道一部区間運休※
バス業	27,371	18,418	△8,952	(△)外出自粛による利用者減 (△)一部ダイヤ変更・運休
その他	4,960	3,109	△1,850	(△)4/10~5/29箱根ロープウェイ運休 (△)4/10~5/31箱根観光船運休 (+)箱根エリア観光需要回復 (GoToトラベル事業)
営業利益	23,534	△16,525	△40,059 (-)	
鉄道業	22,514	△9,831	△32,345	
バス業	1,237	△5,732	△6,969	
その他	△217	△961	△743	

※ 台風19号の影響により、2019年10月12日より箱根登山鉄道の箱根湯本駅~強羅駅間運休（2020年7月23日より全線で運転再開）

<フリーパス売上枚数 (対前年) >

箱根フリーパス	△62.6%
江の島・鎌倉フリーパス	△88.2%

<小田急旅行センター利用者数 (対前年) >

乗車券等の購入者	△99.0%
----------	--------

<箱根地区各社輸送人員 (対前年) >

箱根登山鉄道(鉄道)	△42.4%
箱根登山鉄道(ケーブルカー)	△48.1%
箱根ロープウェイ	△26.5%
箱根観光船	△66.0%
箱根登山バス(乗合業)	△36.5%

<箱根エリアの営業収益 (対前年) >

単位：百万円	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減
箱根エリア※	14,012	8,673	△5,339

※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

(参考) 箱根大涌谷周辺の噴火警戒レベル引き上げにより、2019年5月19日より箱根ロープウェイ運休（2019年10月26日より全線で運転再開）

<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

単位：千人	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減	
定期	370,731	253,265	△ 117,466	(△ 31.7%)
通勤定期	264,159	209,353	△ 54,806	(△ 20.7%)
通学定期	106,572	43,912	△ 62,660	(△ 58.8%)
定期外	223,825	143,111	△ 80,714	(△ 36.1%)
合計	594,556	396,376	△ 198,180	(△ 33.3%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減	
定期	37,075	25,977	△ 11,098	(△ 29.9%)
通勤定期	31,584	23,968	△ 7,616	(△ 24.1%)
通学定期	5,491	2,009	△ 3,481	(△ 63.4%)
定期外	53,789	32,340	△ 21,449	(△ 39.9%)
旅客運輸収入計	90,865	58,318	△ 32,547	(△ 35.8%)
運輸雑収	2,840	2,421	△ 419	(△ 14.8%)
運輸収入合計	93,706	60,739	△ 32,966	(△ 35.2%)

■ 営業費

単位：百万円	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減	
営業費 合計	71,611	68,674	△ 2,936	
人件費	21,029	19,869	△ 1,159	
修繕費	5,288	4,486	△ 802	
動力費	4,473	3,991	△ 481	
固定資産除却費	712	928	+ 216	
減価償却費	18,178	18,652	+ 473	
その他	21,928	20,746	△ 1,182	

単位：百万円	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	154,829	114,556	△40,272 (△26.0%)	
百貨店業	98,837	61,791	△37,046	(△)4/8~5/25臨時休業(食品フロア除く) (△)外出自粛による利用者減
ストア・小売業	50,496	47,721	△2,775	(△)駅構内コンビニ利用者減・臨時休業 (+)内食需要増に伴うストア利用者増
その他	5,495	5,044	△450	
営業利益	2,676	△1,596	△4,272 (-)	
百貨店業	3,536	△1,318	△4,855	
ストア・小売業	0	△54	△54	
その他	△860	△223	+637	(+)前期白鳩のれん追加償却反動

<百貨店業：営業収益内訳（実績・対前年）>

単位：百万円	2020年度 第3四半期	増減
新宿店	39,942	△42.8%
店頭	35,507	△46.1%
町田店	16,634	△25.6%
ふじさわ	3,654	△20.2%
その他	1,560	△26.1%
合計	61,791	△37.5%

<百貨店業：免税売上高（対前年）>

新宿店	△89.3%
-----	--------

<ストア・小売業：小田急商事 ストア部門売上高（対前年）>

全店	+4.9%
既存店	+4.7%

単位：百万円	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	46,341	43,023	△3,318 (△7.2%)	
不動産分譲業	14,461	12,682	△1,779	(△)計上戸数・単価減
不動産賃貸業	31,880	30,341	△1,538	(△)商業施設臨時休業に伴う賃料減免
営業利益	7,366	10,417	+3,051 (+41.4%)	
不動産分譲業	△2,302	△691	+1,610	(+)当社分譲用地売却
不動産賃貸業	9,668	11,109	+1,440	(+)費用削減

<分譲業：小田急不動産 計上戸数>

単位：戸・区画	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減
戸建	79	66	△13
マンション	31	23	△8
土地	17	34	+17
合計	127	123	△4

単位：百万円	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	増減・主な要因	
営業収益	83,405	49,313	△34,092 (△40.9%)	
ホテル業	22,226	7,837	△14,388	(△)4/26~5/31箱根ホテル臨時休業 (△)外出自粛・入国制限による利用者減 (+)箱根エリア観光需要回復（GoToトラベル事業）
レストラン業	15,191	8,357	△6,834	(△)臨時休業 (△)外出自粛による利用者減
その他	45,986	33,118	△12,868	(△)外出自粛による利用者減（旅行業等） (△)リゾート人材派遣・広告需要減
営業利益	2,760	△10,012	△12,773 (-)	
ホテル業	△253	△7,977	△7,723	
レストラン業	205	△1,420	△1,625	
その他	2,809	△614	△3,424	

<ホテル業：客室稼働率>

	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	対前年
ハイアット リージェンシー 東京	85.9%	10.2%	△75.7P
ホテルセンチュリーサザンタワー	90.9%	11.4%	△79.5P
山のホテル	76.1%	62.3%	△13.8P
箱根ハイランドホテル	71.2%	57.3%	△13.9P
ホテルはつはな	83.1%	72.5%	△10.6P

<ホテル業：外国人宿泊者比率>

	2019年度 第3四半期	2020年度 第3四半期	対前年
ハイアット リージェンシー 東京	78.7%	14.5%	△64.2P
ホテルセンチュリーサザンタワー	72.8%	0.6%	△72.2P

- ・業績予想は第3四半期までの業績を踏まえるとともに、2021年1月に発出された緊急事態宣言の影響を織り込んで策定しています。
- ・参考として、下記に当初想定と比較した回復見込の推移をセグメントごとに示しています。

(参考)

10月時点見込		今回見込	営業収益 の修正
運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小田急電鉄 鉄道業 3月時点で当初想定 of 8.5割程度まで回復 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 小田急電鉄 鉄道業 3月時点で当初想定 of 7.5割程度まで回復 	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ バス業 <u>下期</u>は当初想定 of 8割程度で推移 	<ul style="list-style-type: none"> ■ バス業 <u>第4四半期</u>は当初想定 of 6割程度で推移 	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 箱根 (交通各社) <u>下期</u>は当初想定 of 6~7割程度で推移 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 箱根 (交通各社) <u>第4四半期</u>は当初想定 of 5割程度で推移 	
流通業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 百貨店業 <u>下期</u>は当初想定 of 7~8割程度で推移 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 百貨店業 <u>第4四半期</u>は当初想定 of 7割程度で推移 	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ ストア・小売業 <u>下期</u>は当初想定 of 9割程度で推移 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ストア・小売業 <u>第4四半期</u>は当初想定 of 9割程度で推移 	
不動産業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 不動産賃貸業 <u>下期</u>は当初想定 of 9割程度で推移 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 不動産賃貸業 <u>第4四半期</u>は当初想定 of 9割程度で推移 	
その他の事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホテル業 <u>下期</u>は当初想定 of 4割程度で推移 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ホテル業 <u>第4四半期</u>は当初想定 of 3割程度で推移 	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ レストラン業 <u>下期</u>は当初想定 of 7~8割程度で推移 	<ul style="list-style-type: none"> ■ レストラン業 <u>第4四半期</u>は当初想定 of 5割程度で推移 	

※ 実際の感染拡大の状況や消費動向等により当業績予想は大きく変動する可能性があります。
今後の動向を踏まえ、当業績予想について再度修正が必要となる場合には速やかに開示します。

単位：百万円	2019年度	2020年度	増減	10月時点見込	増減
営業収益	534,132	383,100	△151,032 (△28.3%)	390,600	△7,500 (△1.9%)
運輸業	173,174	117,500	△55,674	124,500	△7,000
流通業	206,563	157,500	△49,063	159,000	△1,500
不動産業	80,478	70,600	△9,878	68,100	+2,500
その他の事業	112,256	66,400	△45,856	67,900	△1,500
調整額	△38,340	△28,900	+9,440	△28,900	-
営業利益	41,103	△32,000	△73,103 (-)	△28,400	△3,600 (-)
運輸業	21,641	△27,400	△49,041	△21,800	△5,600
流通業	4,373	△3,600	△7,973	△3,600	-
不動産業	12,940	14,300	+1,359	13,500	+800
その他の事業	2,090	△15,400	△17,490	△16,600	+1,200
調整額	58	100	+41	100	-
経常利益	38,299	△38,500	△76,799 (-)	△33,100	△5,400 (-)
親会社株主に帰属する当期純利益	19,923	△34,300	△54,223 (-)	△32,100	△2,200 (-)
設備投資額	91,599	67,600	△23,999	76,300	△8,700
減価償却費	49,628	51,400	+1,771	51,800	△400
有利子負債残高	741,027	790,600	+49,572	798,200	△7,600

セグメント別業績予想（運輸業）

※ 当決算説明資料では、「調整額」は各サブセグメントの営業収益および営業利益に含めて表示しています。



単位：百万円	2019年度	2020年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	173,174	117,500	△55,674 (△32.1%)		124,500	△7,000 (△5.6%)	
鉄道業	131,528	89,400	△42,128	(△)外出自粛による利用者減	94,700	△5,300	(△)緊急事態宣言再発出による利用者減
バス業	35,262	24,200	△11,062	(△)外出自粛による利用者減 (△)一部ダイヤ変更・運休	25,500	△1,300	(△)緊急事態宣言再発出による利用者減
その他	6,384	3,900	△2,484		4,300	△400	(△)緊急事態宣言再発出による利用者減 (△)GoToトラベル事業一時停止
営業利益	21,641	△27,400	△49,041 (-)		△21,800	△5,600 (-)	
鉄道業	22,013	△16,900	△38,913		△11,900	△5,000	(+)費用削減
バス業	78	△8,600	△8,678		△8,200	△400	(+)費用削減
その他	△450	△1,900	△1,449		△1,700	△200	
設備投資額	40,940	36,200	△4,740		38,300	△2,100	
減価償却費	32,392	33,300	+907		33,500	△200	

<箱根エリアの営業収益（対前年）>

単位：百万円	2019年度	2020年度	増減
箱根エリア※	17,708	11,240	△6,467

※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

セグメント別業績予想（運輸業）



<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績>

■ 輸送人員

単位：千人	2019年度	2020年度	増減
定期	477,738	333,290	△144,448 (△30.2%)
通勤定期	349,361	276,713	△72,648 (△20.8%)
通学定期	128,377	56,577	△71,800 (△55.9%)
定期外	287,589	196,122	△91,467 (△31.8%)
合計	765,327	529,412	△235,915 (△30.8%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2019年度	2020年度	増減
定期	48,354	34,530	△13,824 (△28.6%)
通勤定期	41,755	31,902	△9,852 (△23.6%)
通学定期	6,599	2,627	△3,971 (△60.2%)
定期外	68,951	44,422	△24,529 (△35.6%)
旅客運輸収入計	117,306	78,952	△38,353 (△32.7%)
運輸雑収	3,798	3,191	△607 (△16.0%)
運輸収入合計	121,105	82,144	△38,960 (△32.2%)

■ 営業費

単位：百万円	2019年度	2020年度	増減
営業費 合計	98,801	96,098	△2,702
人件費	28,393	27,330	△1,062
修繕費	8,603	7,890	△712
動力費	5,879	5,193	△685
固定資産除却費	1,391	1,691	+300
減価償却費	24,628	25,170	+541
その他	29,906	28,822	△1,084

セグメント別業績予想（流通業）



単位：百万円	2019年度	2020年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	206,563	157,500	△49,063 (△23.8%)		159,000	△1,500 (△0.9%)	
百貨店業	131,342	86,000	△45,342	(△)臨時休業(食品フロア除く) (△)外出自粛による利用者減	87,500	△1,500	(△)緊急事態宣言再発出による利用者減
ストア・小売業	68,008	64,300	△3,708	(△)駅構内コンビニ利用者減・臨時休業 (+)内食需要増に伴うストア利用者増	64,300	-	
その他	7,212	7,200	△12		7,200	-	
営業利益	4,373	△3,600	△7,973 (-)		△3,600	- (-)	
百貨店業	4,403	△2,900	△7,303		△2,900	-	
ストア・小売業	186	△400	△586		△400	-	
その他	△216	△300	△83		△300	-	
設備投資額	5,498	5,600	+101		6,600	△1,000	
減価償却費	3,791	3,700	△91		4,200	△500	

セグメント別業績予想（不動産業）



単位：百万円	2019年度	2020年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	80,478	70,600	△9,878 (△12.3%)		68,100	+2,500 (+3.7%)	
不動産分譲業	38,981	30,600	△8,381	(△)計上戸数減	29,400	+1,200	(+)計上予定戸数増
不動産賃貸業	41,496	40,000	△1,496	(△)商業施設臨時休業に伴う賃料減免	38,700	+1,300	
営業利益	12,940	14,300	+1,359 (+10.5%)		13,500	+800 (+5.9%)	
不動産分譲業	1,621	1,500	△121		1,300	+200	
不動産賃貸業	11,318	12,800	+1,481	(+)費用削減	12,200	+600	
設備投資額	29,547	20,700	△8,847		26,500	△5,800	
減価償却費	9,374	10,000	+625		9,600	+400	

<分譲業：小田急不動産 計上戸数>

単位：戸・区画	2019年度	2020年度	増減
戸建	125	103	△22
マンション	268	186	△82
土地	22	46	+24
合計	415	335	△80

セグメント別業績予想（その他の事業）



単位：百万円	2019年度	2020年度	増減・主な要因		10月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	112,256	66,400	△45,856 (△40.8%)		67,900	△1,500 (△2.2%)	
ホテル業	27,948	10,300	△17,648	(△)外出自粛・入国制限による利用者減	10,600	△300	(△)GoToトラベル事業一時停止 (△)緊急事態宣言再発出による利用者減
レストラン業	19,415	11,000	△8,415	(△)臨時休業 (△)外出自粛による利用者減	12,100	△1,100	(△)緊急事態宣言再発出による利用者減
その他	64,892	45,100	△19,792	(△)外出自粛による利用者減（旅行業等） (△)リゾート人材派遣・広告需要減	45,200	△100	
営業利益	2,090	△15,400	△17,490 (-)		△16,600	+1,200 (-)	
ホテル業	△2,070	△11,400	△9,329		△12,400	+1,000	(+)費用削減
レストラン業	△130	△2,300	△2,169		△2,100	△200	
その他	4,290	△1,700	△5,990		△2,100	+400	(+)費用削減
設備投資額	15,612	5,100	△10,512		4,900	+200	
減価償却費	4,151	4,400	+248		4,500	△100	

■ご案内

この決算説明資料の他に、決算に関する資料として下記資料を弊社ウェブサイト「決算短信」 (<https://www.odakyu.jp/ir/financial/settle/>) に掲載しています。

- ・ 決算短信
- ・ 決算説明資料（解説付）
- ・ 決算に関するFAQ

■注意事項

スライドに記載されている計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは開示時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。

したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。

小田急電鉄株式会社